

八丈島 水産だより 9月号 2017



花火



八丈島納涼花火大会

今年の夏は八丈島周辺の水温が平年より低く、海に入るとかなり冷たく感じられました。そのような中でも、連日多くの方が海水浴に訪れていました。

さて、8月11日に八丈島花火大会が開催されました。約650発の花火が打ち上げられ、会場となった底土海岸の空を鮮やかに彩りました。また会場ステージでは、子供バンドによる演奏や島外の中学生による八丈太鼓などが披露されました。

■ 今年のアブキは？

6月末から解禁された八丈島のアブキ（フクトコブシ）漁は8月末までに終了しました。今年八丈島の3つの地区で、昨年とほぼ同じ量の水揚げがありました。しかし過去10年間の平均よりは少なく、依然として厳しい状態が続いています。アブキの餌となるテングサも八丈島の周りではあまりみられず、この状況を改善するための研究が進められています。



アブキ



水揚げの調査



■ 漁業就業体験が開催されました



漁具の手入れ



棒受け網漁



漁模様



水揚げ

8月24日から6日間、八丈島の漁業を体験する研修会が開催されました。毎年多くの応募があり、その中から3名が選ばれました。今年は台風にあらず、予定通り終わることが出来ました。参加者はムロアジをとる棒受け網漁業を中心に、漁船に乗って漁師さんと一緒に魚のかかった網を引くなどの体験をしました。そして嬉しいことに、参加者1名が10月から漁業者として八丈島に来ることが決まりました。